

(特非) ぎふ木と森の学校

茅場復元による生物多様性の保全と環境農法の促進

つづける助成

2年目

実践

茅場復元 2.5ha

茶摘み等のエコツアー参加者 61人

今年度計画の達成度 85%

目標達成度 80%



茶畑への茅の施肥

活動内容と成果

- 放置された茅場を2.5ha 復元するとともに、刈り取ったカヤやササを茶畑に搬送し敷き詰めた。
- 春に茶刈り体験ツアー、夏に紅茶とウーロン茶づくりツアー、秋に茶実採取・茶実油採取体験ツアー、冬に三年番茶ツアーを行い、61人の参加があった。
- お茶のシンポジウムを開催。50人の参加があり、岐阜新聞の新聞記事となった。
- 茅場復元に際し、除伐した材を薪にして三年番茶焙煎の燃料用に提供した。

課題

ササユリやカタクリは茅場を代表する植物である。かつて茅場のカヤやササを堆肥にする環境農法が行われていたが、現在は茅場が放置され、生物多様性が乏しくなっている。

目標

放置されたままの茅場を復元し、カヤ等の青草を堆肥にする環境農法を復活することで植生を豊かにし、茶畑の景観を向上させる。都市農村交流を活性化させ、地域振興を図る。



茶刈り体験ツアー

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

茅が生えているところは急斜面で足場が悪く刈取りが容易でない。また刈取った茅は重いので、搬送が大変であった。

■ 工夫した点

刈り取った後、半日もしくは1日天日で干し、カヤの水分が半減して軽量になってから搬送し、茶畑に施肥した。



今後の
展望

茅場復元場所の多くが地元が推進した遊歩道計画と重なったことで、年間4万人が訪れる観光スポット整備に貢献ができた。この活動は今後も「天空の遊歩道」の維持発展に貢献し、地域振興の一助になれると思う。

活動地域 | 岐阜県揖斐川町春日

〒509-0258
岐阜県可児市若葉台三丁目166番地